

<報道関係各位>

2020年9月3日
ギリアド・サイエンシズ株式会社

当資料は、米国ギリアド・サイエンシズ社が、2020年9月3日（現地時間）に発表した英文プレスリリースを日本語に翻訳、一部編集したものです。正式な言語は英語であり、その内容ならびに解釈については英語が優先いたします。

カイト社と HiFiBio Therapeutics 社 急性骨髄性白血病（AML）に対する 新規標的と抗体の発見に向け提携

—HiFiBio社が所有するシングルセルプラットフォームを活用する共同研究で、カイト社が進めているAMLに対する細胞療法の開発に役立つ新規標的の特定へ—

ギリアド・サイエンシズ（本社：米カリフォルニア州フォスターシティ、ナスダック：GILD、以下「ギリアド」）の子会社であるカイト社（以下「カイト」）と HiFiBio Therapeutic 社（本社：マサチューセッツ州ケンブリッジ、以下「HiFiBio」）は9月3日、急性骨髄性白血病（AML）における2年間の共同研究契約とライセンス契約の締結を発表しました。この共同研究により、HiFiBioは同社がもつ技術プラットフォームを活用し、AMLにおける新規標的と特異的抗体を特定し、カイト社の細胞療法の開発に提供します。

カイトのシニアバイスプレジデントであるピーター・エムテージ（Peter Emtage, PhD）は、「カイトはAMLの患者さんのために新規細胞療法の研究を進めています。現在、AMLに特異的な標的の特定に向けた活動はプロテオミクスデータセットの探索を中心に行われており、AML患者サンプルを用いたものではありません。HiFiBio社のもつ革新的技術により、AML患者サンプルを用いた新たな標的のスクリーニングが行えるとともに、抗AML抗体を特定でき、これらの知見が細胞療法に応用できる可能性があり、提携に心躍らせています。」と述べています。

HiFiBioのCEOであるリャン・シュワイツァー（Liang Schweizer, PhD）は、「私たちはカイト社と共に、AML患者サンプルを直接検討し、AMLに関係する標的を特定する研究を進めることを楽しみにしています。今回の提携は、私たちの持つ抗体とバイオマーカーに関する技術を用いた標的発見技術を補完するものとなり、HiFiBioのプラットフォームの多用途性をより示すものとなります。」と述べています。

本契約の条件に基づき、HiFiBioには契約前渡金が支払われ、その後研究のマイルストーンの達成に応じて報酬が支払われます。カイトは、この共同研究で発見に至った標的に対するオプティンについて、独占的オプション権を有し、これが行使された場合はHiFiBioが追加の支払いを受け、開発、承認申請と事業化についてマイルストーン報酬を受けるとともに、ロイヤリティ収入を獲得します。

HiFiBiO Therapeuticsについて

HiFiBiO Therapeuticsは、シングルセルプロファイリング技術、最新のデータインテリジェンスと免疫生物学領域における深い知識を活用し、免疫療法に革新をもたらしています。このアプローチにより、新規の抗体療法とその効果予測に役立つバイオマーカーの開発が可能となります。HiFiBiO Therapeuticsは、独自のパイプラインプログラムの開発を行うほか、製薬業界やアカデミアにおける世界屈指の研究者とのオープンイノベーションを通じて未だ満たされない医療上のニーズに応えるべく活発に活動しています。HiFiBiO Therapeuticsは、マサチューセッツ州ケンブリッジ、パリ、上海および香港に最新の研究拠点を置き、三大陸を網羅する活動を展開しています。詳細については、www.hifibio.comをご覧ください。

カイトについて

ギリアドの子会社であるカイトは、カリフォルニア州サンタモニカを拠点とするバイオファーマ企業です。革新的ながん免疫療法の開発を行っており、特にキメラ抗原受容体（CAR）およびT細胞受容体遺伝子改変細胞療法に注力しています。詳細はカイト社ウェブサイトwww.kitepharma.comをご参照ください。

ギリアド・サイエンシズについて

ギリアド・サイエンシズは、医療ニーズがまだ十分に満たされない分野において、革新的な治療を創出、開発、製品化するバイオ医薬品企業です。会社の使命は、生命を脅かす病を抱える世界中の患者さんのために医療を向上させることです。カリフォルニア州フォスターシティに本社を置き、世界35か国以上で事業を行っています。ギリアド・サイエンシズに関する詳細は、www.gilead.comをご覧ください。

ギリアドとカイトの将来予想に関する記述

本プレスリリースには、1995年米国民事証券訴訟改革法（Private Securities Litigation Reform Act of 1995）で定義される「将来予測に関する記述」に該当するものが含まれており、ギリアドおよびカイトが、今回のHiFiBiOの提携、あるいは細胞療法へのその他の投資で期待される便益をもたらすことができないリスクを含め、いくつかのリスク、不確定要素、その他の要因により影響を受けることがあります。歴史的事実以外の全ての記述は、将来予想に関する記述とみなしてください。これらのリスクや不確定要素、その他の要因により、実際の結果が「将来予想に関する記述」と著しく異なったものとなる可能性があります。将来予想に関する記述のみに依拠することはお控えください。これらのリスクやその他のリスクについては、米国証券取引委員会に提出している、2020年6月30日までの四半期のギリアド社四半期報告書（フォーム10-Q）で詳細に説明しています。将来予想に関する記述はすべて、ギリアドおよびカイトが現在入手できる情報に基づいており、ギリアドおよびカイトは将来予想に関する記述を更新する義務を負いません。

###